

花巻市石鳥谷地域協議会 平成25年度第2回会議 会議録

【日時】 平成25年6月18日（火）午後1時30分～午後2時52分

【場所】 石鳥谷総合支所 3階 大会議室

【出席者】 出席委員：12名

菅原昭造、似内英悦、高橋貢、岩舘大輔、伊藤邦彦、立花英一、熊谷幸雄、玉山規矩夫、晴山美紀子、藤根勝榮、藤原眞紀男、佐々木さつき

欠席委員：3名

熊谷弘子、樋口正洋、菅原黎治

市側出席者（総合計画策定室）：3名

佐々木俊幸室長、菅野圭次長、瀬川幾子主査

事務局出席者（石鳥谷総合支所）：8名

菅原総合支所長、伊藤地域振興課長、熊谷市民サービス課長、菅原地域振興課長補佐、熊谷同課長補佐、藤原市民サービス課長補佐、佐々木地域づくり係長、畠山主査

【協議】 ○花巻市まちづくり総合計画（素案）について

- ・総合計画策定室から内容説明を受け、質疑・意見を述べた。
- ・今後のスケジュールとしては、7月中に諮問、答申は7月下旬若しくは8月となる予定
- ・次回の第3回会議は、諮問の予定
- ・日程については、会長一任。市から示される諮問の日程から会長と協議し決定
- ・前回配布した「意見・質問用紙」は、6月28日までに事務局（地域振興課）に提出

【その他】 会議を傍聴した者 なし

※会議での発言等は別紙顛末のとおり

※会議における配布資料は以下のとおり

「花巻市まちづくり総合計画の策定経過について」

顛末

○ 進行／伊藤地域振興課長

1 開 会 似内英悦副会長が開会を宣した。13：30

2 挨拶

菅原昭造会長

皆さん、お忙しいところご参加いただきましてありがとうございます。

昨日、第1回の会議時に協議した、『石鳥谷地域協議会だより』が石鳥谷地域内にカラーで全戸配布になりました。ありがとうございました。

今日は、総合計画につきまして市の担当者からご説明をいただき、そのあと質疑、そして検討した後、後日正式に諮問となるそうです。

よろしく願いいたします。

3 協議

(説明前に、市側出席者【総合計画策定室】から自己紹介)

菅原昭造会長

それでは、花巻市まちづくり総合計画(素案)について説明願います。

佐々木室長

(資料【花巻市まちづくり総合計画の策定経過について】【花巻市まちづくり総合計画長期ビジョン(素案)】【第1期中期プラン(素案)】【花巻市まちづくり総合計画への提言書：資料1】【主要指標の県内他市等との比較：資料2】により説明)

今後、6月の中旬から各地域協議会、自治推進委員会に説明をします。

パブリックコメントは7月8日まで行い、意見聴取をしながら、7月中に諮問、それから、7月下旬若しくは8月中に答申の作業を進めていただき、9月の議会で決定をしたいというスケジュールで現在進めているところです。

菅原昭造会長

いまお話しがあったとおりであります、第3回目の会議の時に正式な諮問となります。

諮問がありましたら、総合計画について、各章ごとにまとめていき、答申としたいと考えております。

お聞きしたいことは何かありませんか。

藤原委員さん何かございませんか。

藤原委員

この計画は、10年スパンということですが、前の10年間については何に重点を置いた計画なのでしょう。そして向こう10年の計画で何にウエイトを置いたものなのでしょう。

佐々木室長

ウエイトのことにしてお話いたしますと、先日の総合計画審議会でも同じような質問がありました。どこに重点を置くのかと。

あくまでも総合計画ですので、基本理念の部分が非常に多くて、それぞれの施策の中で、例えば、これから団塊の世代の方が年をとられて、重点的にそこに何を投資するのかなどと言えば、福祉あるいは健康の分野でそれぞれの重点施策を今後進めていくことになると思います。

同然背景として、人口減少・少子高齢化があり、先ほどお話いたしました、平成35年には、老年人口（65歳以上）が35%になりますので、それに見合った施策の展開になろうかと思えます。

菅原昭造会長

よろしいでしょうか。

次に藤根委員、いかがでしょうか。

藤根委員

例えば、例をあげますと環境問題、温暖化。花巻市内見渡す限り、松が赤い。

それから、家族の絆。家族であっても、世代の違いで共同生活が難しい。

若い人といっても40代位の小学生がいる世代など他市町村へ出て行ってしまおうという問題。

それから、若い人、高校生・大学生など花巻に就職したくても、自分の希望する職種がない。

我々の世代であれば生活のために我慢していたが、自分の夢や目標に合わないから転出してしまいます。

少子・高齢化で大事な若い、貴重な人材が出て行ってしまいます。

ある程度、生活の基盤がなければ、ボランティアがしたいなあと思っても現実には出来ない。

今までの過去10年間の計画にもあったかと思いますが、それがどこまで解決したのか、どこまで進んだのか、検証がどうなっているのかわからないが、現実の花巻市をみて、そういう、環境の問題や企業の誘致があるのか。

花巻市に企業を誘致して職場を確保する。

具体的なことが書いてない。そういうことを書いて、若い人に見せないと、なかなか今までお話しされたことが、現実に活かさないのではないかと。

すごく立派な文書であります、現実と離れているのではないかと。

もう少し踏み込んで、この企業誘致については、力を入れてやっていかないと大変なことになると思います。

企業誘致は、少なくとも年2社から3社位は誘致して、あるいは、企業化を支援する。

花巻にある事業所は閉めてしまい、本社に行ってやめてしまいます。

それを考えれば、働く場所がない、生活の基盤がないのが本当に困る。

今回の計画でどれほど解決できるのか。

若い人が花巻に希望をもって残るには、高校卒業あるいは県外に行った大学生が卒業して何割帰ってくるか、そういうことをちゃんと詰めていかないといけないと思います。

佐々木室長

花巻市としては、強みの部分であります、観光の部分による交流人口を増やして生活基盤を整えながら、人口減少を食い止めていく。

子育て支援にも力を入れていくというプランも盛り込んでおります。

それらの政策を進めることによって、少しでも人口減少を食い止めるという考え方にたってプランを考えていきます。

菅原昭造会長

岩館委員さん、若い経営者の立場から意見がありましたらどうぞ。

岩館委員

商店街の状況はかなり厳しく難しいと思います。

むしろ、農業の1次産業の底上げが現実的ではないかと思います。

菅原昭造会長

ほかにどうでしょうか。

玉山委員さんどうでしょうか。

玉山委員

一般的にはいいと思います。

今の厳しい現状を的確に捉えて、どの分野が進める可能性があるのか、突き詰めて、行政がどんなことをして、市民がどういう協力をすれば実現可能なのか、そういう目的、夢を市民と共有しないとその場限りのことになりますので、どれを重点的にがんばるのか、その成果を市民も行政もよかったなあとともに称えあえるようなことが計画の中にあればいいなあと感じております。

佐々木室長

例えば、盛岡は商業の町、北上は工業の町とか水沢も商業の町ですが、花巻市

は、農工商がバランスよくある町であり、その中に宮沢賢治さんのような先人が生まれた町、文化の町、そして温泉・観光の町であり、現在、交流人口の拡大に努めているところであり、それらが強みでもあります。今後もそれらが基礎になっていくと思います。

工業の部分で申しますと、北上市がいち早く工業団地を造りまして、工業の町となりましたが、花巻市も第1工業団地・第2工業団地がありますし、誘致も進めております。

また特色として、企業誘致もしておりますが、地元で技術が根付く施策、企業化支援施設のようなインキュベーション施設をつくって大学との連携、あるいは地元で起業する方の支援を行っており、全国から注目され、他の地域からくる事例も多々あります。

最近では、農工商観の連携でありますとか、6次産業の振興ということで農業者の支援、あるいは食品加工業者と農業と物産までを支援するというのが新しい施策で、農工商観連携の推進ということを新に加えておりますし、そこについては、力を入れる施策と思っております。

それらを推進することによって、技術なり事業者をひとつでも多く輩出して、地元への定着へとつなげていきたいと考えております。

菅原昭造会長

ほかにどうでしょうか。

藤根委員

例えば、新規就農。若い人は、農業に対して思いがすごく強い。

高い理想があって、しかし、現実との生活ギャップが大きくて、辞めて盛岡に働きに行ってしまう。

それから、リタイアしてから来る方がいるが、10年・15年たって後継者もいなくて、空家になって、どんどん増えていく。そういう問題が起こってきている。

現実どこまで出来るのか。何のブランドをつくるのか。

例えば、今の第1次産業を元気にすれば商店街がよくなるよとか。もう少し具体的にリアルにしないとイケないと思います。

菅原昭造会長

はい、ほかにどうでしょうか。

晴山委員

現実をみたとき、私の年代、団塊の世代がさて10年したときに、自分として何ができるのか。

どう考えたらこの町をよくすることができるのか。

その時に、若い人はどう考えているのか。私たちは知る機会がないんですよ。若い人でも、この町をどうにかしたいと考えている人はいると思うんですよ。資料1の『花巻市まちづくり総合計画への提言書』に花巻市総合計画市民会議の名簿がありますが、Aの『しごと』のところに石鳥谷出身の若い方がおります。この方は、しょっちゅうテレビに出てるんですよ。何かイベントがあるとよく参画しているようです。

先日は、インターネットを使った選挙をどうしたいかというのに参加していました。

そういう方がどう考えて学生生活をおくっているのか。これからの石鳥谷に住むのか。この方でなくても、そういう若い方々の考え・意見をいっぱい聞けたらと思います。

佐々木室長

若い方の意見が反映する、町づくりが必要というご意見ですね。

藤根委員

若い方の意見を聞くというのは非常に大事だと思います。

月曜日の日中の10時とか午後3時とかでは、勤めている方には参加は難しい。土曜日か日曜日にするとか、夜にして欲しいということと言われたことがあります、会議を夜にしたことがあります。

そうしたら、思いがけなく若い方にたくさん集まってもらったことがあります。

来てもらいたい対象の方々が、集まれる時間帯の開催にする配慮が必要だと思います。または、土曜日・日曜日にするとか。

市政懇談会なども午後6時30分とか7時からですしね。

若い人・勤めている人を対象とした町づくりを考える場合には必要だと思います。

菅野次長

先ほど話しがありました、『花巻市総合計画市民会議』は学生さんも参加しておりますが、午後6時30分から開催しております。

市民会議の委員は、あまり条件を付けずに広く募集したところ、富士大学の学生さんの応募もあり、思いがけず50人を超え、そのうち学生さんが県立大の学生さんも入れて7人になっております。

菅原昭造会長

今日は、市から説明ということですが、後はよろしいですか。

なければ、次の諮問のときには具体的に、要望とかあるいは意見を出していき、答申に入っていきたいと思います。

4 そ の 他

伊藤課長

それでは、その他としてまずひとつは『花巻市まちづくり総合計画』に関連しまして、前回の会議で配布しております『意見・質問用紙』を今月中に地域振興課までお願いいたします。多少過ぎてもよろしいです。

それを総合計画策定室の方へ提出したいと考えております。

当然、次回の答申の時でもかまいませんが、事前に出していただければと思います。

二点目ですが、本日の会議は報酬が振り込みとなりますが、前もって委員の皆様への振り込み先を教えてくださいまして、もし変更がある場合は、お知らせ下さい。

三点目ですが、次回の開催は諮問の予定ですが、7月下旬ということですが、本日はまだ決まっておられませんので、担当課と当課で連絡を取り合いまして、大体のめどが付きましたら、会長と協議して決めたいと思いますがよろしいでしょうか。

菅原昭造会長

第3回につきましては、会長に一任としていただいでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

伊藤課長

皆様方から何かありますでしょうか。

(なし)

5 閉 会 似内英悦副会長が閉会を宣した。14：52